

# 松山港湾・空港整備事務所におけるSDGsの取組について

松山港湾・空港整備事務所は多くの関係者と連携・協力し、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、以下の取組をはじめとする各種施策を推進して参ります。



## 愛媛と世界をつなぎ、地域産業の持続的成長に寄与する港湾整備の推進

東予港は定期フェリーが毎日運航、愛媛から大阪を経て全国・世界とつながっており、県内はもとより四国・東九州に立地する企業の持続的成長に重要な役割を担っています。2018年に供用開始した岸壁(水深7.5m)は耐震性を備えており、物流の継続性を確保しています。現在は、より安全な運航のために必要となる施設整備を行っています。



## きれいな海を未来につなぐ、海洋環境整備事業の推進

海面に浮遊するごみや流木は船舶の安全な航行に支障となります。また、海難事故等による大量の油流出は生物への影響も甚大です。当事務所配備の海洋環境整備船「いしづち」は、これらの回収を行っています。また、海洋環境の大切さを伝えるため、学校や地域を対象とした環境学習などを行っています。

【目標】 環境学習等 2022年度:4回/年 → 2030年度:4回以上/年



## 多様な人が港でつながる、「みなとオアシス」のさらなる推進

愛媛県内には、6つの「みなとオアシス」があります。運営団体、地元自治体、地域の皆様とともに、誰もが気軽に訪れ、また来たいと思われるような「みなと」となるよう、支援を行っています。また、「みなとオアシス」間の連携を推進しています。

【目標】 各団体支援 2022年度:2回/年 → 2030年度:2回以上/年

